

# 2008年版褥瘡経過評価 DESIGN-R

創内の一番深い部分で評価しましょう。  
改善に伴って  
創底が浅くなってきた場合は  
これと相応の深さとして評価します。

ここが一番  
深そう。

2002年度版では  
合計点数に「深さ」を  
入れていましたが、  
DESIGN-Rでは  
「深さ」を合計点に  
入れないことにな  
りました。

深

## Exudate(滲出液) (ドレッシングの交換回数で判定)

<b>e</b>	0	なし
	1	少量：毎日の交換を要しない
	3	中等量：1日1回の交換を要する
<b>E</b>	6	多量：1日2回以上の交換

点数が一気に  
6点に……！  
これが  
重み付け  
(Rating)  
ですよ！

## Size(大きさ)

<b>s</b>	0	皮膚損傷なし
	3	4未満
	6	4以上16未満
	8	16以上36未満
	9	36以上64未満
	12	64以上100未満
<b>S</b>	15	100以上

褥瘡の最大径を長径。  
それと直交する  
最大径を短径として、  
長径×短径で  
大きさを出すのね。

**Size = 長径 × 短径  
(cm) (cm)**

## Inflammation/Infection(炎症/感染)

<b>i</b>	0	局所の炎症徴候なし
	1	局所の炎症徴候あり (発赤、腫脹など)
<b>I</b>	3	局所の明らかな感染徴候あり(膿、悪臭など)
	9	全身的影響あり(発熱など)

## Granulation (肉芽組織)

g

- 0 治癒あるいは創が浅いため評価できない
- 1 良性肉芽が創面の90%以上を占める
- 3 良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める

G

- 4 良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める
- 5 良性肉芽が創面の10%未満を占める
- 6 良性肉芽が全く形成されていない



## Necrotic tissue (壊死組織)

n

- 0 壊死組織なし

N

- 3 柔らかい壊死組織あり
- 6 硬く厚い密着した壊死組織あり



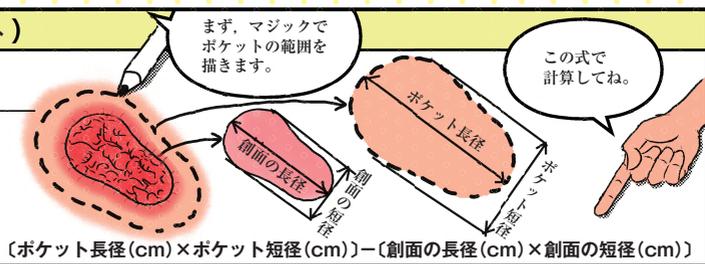
## Pocket (ポケット)

p

- 0 ポケットなし

P

- 6 4未満
- 9 4以上16未満
- 12 16以上36未満
- 24 36以上



## 今日のまとめ

2008年に発表されたDESIGN-Rで褥瘡の評価観察を行いましょう。  
 2002年版では深さが評価に入っていたため、初回に点数をつけることが不可能でした。  
 DESIGN-Rでは深さに関係なく、初回から点数をつけられるようになりました。  
 また項目の重み付け(Rating)により、症例間の比較が可能となりました。

